

■新番組「旅する天体 ほうき星ストーリー」について



■番組紹介テキスト

みなさんは、彗星を見たことがありますか？ - 彗星は、その姿から「ほうき星」とも呼ばれています。太陽系の彼方からやって来て、熱い太陽に近づくとあの美しくたなびく尾を見せるようになります。そして私たちの住む地球にも意外なプレゼントを残し、帰っていきます。

さあ、彗星と一緒に楽しい太陽系の旅へ出発しましょう。

【番組概要】

名称：	プラネタリウムオリジナル番組 ¹ 「旅する天体 ほうき星ストーリー」
上映期間：	2011年6月4日（土）～9月4日（日）
上映時間：	平日 12時50分、14時10分／土・日・祝日 12時50分、15時30分（約40分番組）
休館日：	毎週月曜日（祝日の場合は開館、翌日休）、月末最終火曜日
料金：	おとな 800円／こども 400円
演出：	磯崎 武司（株式会社サイエンスアート社）
作画：	イトウユミコ
制作：	コニカミノルタプラネタリウム株式会社
企画：	つくばエキスポセンター

¹「オリジナル番組」は、季節ごとに様々なトピックスを紹介する子どもから大人向けの番組です。つくばエキスポセンターでは、センター独自に企画を行い、年間4本の番組を制作・上映しています。

■つくばエキスポセンターのプラネタリウムについて

つくばエキスポセンターのプラネタリウムは、投影面（ドームスクリーン）及び座席を傾斜させることにより臨場感が増すように設計されていることが特徴です。

また、当館のプラネタリウム投影システム「ジェミニスターⅢ」は、光学式プラネタリウム（インフィニウム L）と全天周デジタル映像システム（スカイマックス DS）が完全統合されたシステムです。これにより、過去・現在・未来の星空や宇宙空間等、数多くの臨場感あふれる場面を再現することができます。こうした特長を活かし、当館では、星空解説番組以外の番組でも別途時間を設け季節の星空を生解説で紹介しているほか、番組の企画にもこだわり制作・上映を行っています。



プラネタリウムホール

<プラネタリウム仕様>

ドーム直径 : 25.6m
 ドーム形状 : 一方向傾斜型
 座席数 : 232 席
 投影システム : ジェミニスター Ⅲ（コニカミノルタプラネタリウム株式会社製）
 投影恒星数 : 7.6 等星まで 29,000 個、天の川エリアで約 35 万個

■つくばエキスポセンターについて

つくばエキスポセンターは、1985 年に筑波研究学園都市で開催された国際科学技術博覧会（科学万博—つくば85）の恒久記念施設として建設されました。

博覧会終了後は、科学館として運営を再開し今日に至ります。館内には、世界最大級（ドーム直径 25.6m）のプラネタリウムを始め、展示場では科学技術がひらく明るい未来を子どもから大人まで分かりやすく紹介しているほか、国際科学技術博覧会当時の様子を今に伝えるメモリアルコーナーがあります。

また、サイエンスショーや科学教室等のイベント開催にも力を入れており、子どもたちの好奇心を大切に、体験や遊びを通じて科学の楽しさを体感できる施設を目指しています。

<つくばエキスポセンター概要>

名称 : つくばエキスポセンター
 館長 : 木阪 崇司（きさか たかし）
 所在地 : 〒305-0031 茨城県つくば市吾妻 2 丁目 9 番地
 開館時間 : 9:50~16:00（平日）、9:50~17:00（土日祝日）※入館は閉館 30 分前まで。
※東日本大震災による電力供給不足への協力の為、臨時に開館時間を変更しています。
 入館料 : 入館券 おとな 400 円、こども 200 円
 プラネタリウム券（入館含む） おとな 800 円、こども 400 円
 ※おとな : 18 歳以上、こども : 4 歳～高校生、3 歳以下無料
 休館日 : 毎週月曜日（祝日の場合は開館、翌日休）、月末最終火曜日
 アクセス : ・つくばエクスプレスを利用
 [つくば駅]（終点）下車。A2 出口より徒歩 5 分（秋葉原⇄つくば間快速 45 分）。
 ・自動車を利用
 常磐自動車道 [桜土浦 IC] を下りつくば方面へ、その後大角豆（ささぎ）交差点を下妻方面へ（約 8km 15 分）。駐車場有（60 台）、土日祝・繁忙期有料。
 問い合わせ : TEL : 029-858-1100（代）、FAX : 029-858-1107、029-858-1678（団体利用受付）
 HP URL : つくばエキスポセンターホームページ <http://www.expoctr.or.jp/>